

6月17日
本部会議室
出席委員等14人

「ニコ超」来年も出展へ「フェスタ」は隔年開催

パチンコ&パチスロフェスタの今後の計画について協議し、①フェスタは当初の方針通り隔年とし来年は開催しない ②ニコニコ超会議(千葉・幕張メッセ)へは来年も出展する——との方向を確認した。「パチンコ&パチスロフェスタ2014」でニコニコ超会議3に出展されたサテライトブース(4月26、27日)では、パチンコ・パチスロ体験機16台に常時順番待ちの列ができ、2日間で計3146人の一般来場者が試打を楽しんだ。「若い人へのアピールの場として積極的に活用すべき」との意見が出されていた。

裏方、4日間で259人

「フェスタ2014」の舞台裏で活躍した運営スタッフたちによる「フェスタ運営振り返りアンケート」の結果が報告された。フェスタの運営は、遊技機委員会を中心に会員企業の社員有志や他の委員会のメンバーがボランティアで当たった。動員されたスタッフ数

は、ベルサール秋葉原のメイン会場では24日(会場設営等)に72人、25日(業界関係者向け)に61人、26日(一般向け)に62人、ニコニコ超会議3(千葉・幕張メッセ)のサテライト会場では25日(会場設営等)に6人、26日(一般向け)に28人、27日(同)に30人だった。4日間で延べ259人の動員となった。

スタッフアンケート

機種選定や誘導など

会場別にまとめたスタッフたちの意見の総括は次の通り。
▽ベルサール秋葉原・25日(業界関係者向け) 受付場所、受付方法、案内方法がわかりづらかった。B1のパチンコ・パチスロ機器展への誘導が不十分だったので、ホール関係者への開催告知を改善する必要がある。
▽ベルサール秋葉原・26日(一般向け) 行列ができた機種とできない機種があり、設置機種のバランス、台数をよく検討すべき。新規ユーザーのためにもつと敷居を低くし

て気兼ねなくパチンコ・パチスロに触れてもらい、業界を理解してもらえ、内容のイベントを工夫したかどうか。外から会場内のイベントがわかるように会場レイアウトに工夫を。
▽サテライト会場・26、27日(一般向け) 集客力の高いイベント(ニコニコ超会議3)への出展だったので、費用対効果は大きかった。今回は初出場でブースも小さく手さぐり状態だったが、次回以降は会場規模を大きくし、イベント性を豊かにしたい。

広報調査委員会

6月6日
本部会議室
出席委員等11人

10月上、中旬実施へ

ファンアンケート調査

今期の事業計画の1つ、2014年ファンアンケート調査(ホール来店客調査)について、実施の仮スケジュールが事務局から発表された。それによると、6、7月中に前回調

7月の行事予定

2日(水)	10:00~17:00	店長・管理職能力開発講習(福岡県遊技会館)
3日(木)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・試験(新規)(ホテルニューオータニ博多)
4日(金)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・試験(更新)(ホテルニューオータニ博多)
8日(火)	13:30~16:30	救命講習会
11日(金)	13:00~17:00	社会貢献・環境対策委員会(筑波大学附属病院)
	14:00~16:00	流通勉強会
15日(火)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・試験(更新)(札幌ガーデンパレス)
	15:00~17:00	遊技機委員会
	15:00~	東北支部と九州支部 意見交換会(宮城県刈田、トレーラーハウスエルファロ)
16日(水)	13:00~15:00	広報調査委員会
	15:30~17:30	委員長会議
17日(木)	11:00~13:00	政策検討連絡会
	13:30~16:00	理事会
	16:30~17:00	記者会見
18日(金)	12:00~13:00	人材育成委員会
	13:30~18:00	人材育成フォーラム
22日(火)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・試験(新規)(ベルサール神田)
23日(水)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・試験(更新)(ベルサール神田)
24日(木)	10:00~17:00	店長・管理職能力開発講習(本部会議室)
	15:30~17:30	セキュリティ対策委員会(全日遊連)
28日(月)	14:00~17:00	東京都・関東支部セキュリティ対策部会
30日(水)	14:00~17:30	新経営者会議(ハイアットリージェンシー東京)
31日(木)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・試験(新規)(名古屋ガーデンパレス)

査の質問項目等を再検討して8月開催の委員会内容で内容を決定する。

8月下旬をメドに調査協力企業を確認し、9月下旬に企業側に資料(調査用紙等)を送る。調査は繁忙期を避けた10月上、中旬に実施する。12月までに報告書(案)を完成させ、来年1月8日の第5回定例理事会に提出するとなっている。

日遊協ホームページのリニューアルについて審議した。

社会貢献・環境対策委員会

6月13日
本部会議室
出席委員等10人

パチスロで認知症対策に協力

筑波大学の臨床実験に5台投入

筑波大学の「認知予防」軽度な認知症患者の認知症抑制」の臨床実験に、パチンコ・パチスロ遊技機を使った協力が検討されていたが、実現のため同大学側とスケジュール等の調整に入った。

臨床実験を行っているのは、同



認知症予防の臨床実験への協力を協議した社会貢献・環境対策委員会

大医療医学系臨床医学域精神医学、朝田隆教授のプロジェクトチーム。現在、30人ほどの軽度認知症患者に対して運動、ゲーム、歌など種々の予防プログラムを提供し、認知症の抑制効果を研究している。実験は、被験者をグループ分けし、グループ対抗で勝敗をつけて報酬(お菓子、飲み物)がもらえる仕組みにして、被験者のやる気や興味を引き出す形となっている。

フェスタ機と人員を

このプログラムの中でパチンコ・パチスロの活用を朝田教授と委員会とで検討した結果、当面、目押し作業のあるパチスロ機で、4月の「パチンコ&パチスロフェスタ2014」に出展された、短時間で一連の当たりが体験できる特別仕様機を使うことになり、委員会から当該メーカーに協力を依頼し、7月中に筑波大に5台搬入される。

実験開始は8月以降の予定だが、

委員会メンバーや有志ホールのスタッフも遊技のコーチのため大学に向いて協力する。また、「健康パチンコ」の諏訪東京理科大学、篠原菊紀教授(脳科学、応用健康科学/日遊協理事)も協力して行く。一連の実験で効果があれば、9月に東京医科歯科大学につくられる認知症抑制施設への機械提供が、朝田教授から要望されている。将来的にはパチンコ機の臨床実験活用も検討されている。

業界にも新たな展開

委員会としては、実験に協力することにによる業界の新たな展開に

ついて、①認知症予防にパチンコ・パチスロが活用できる可能性 ②認知症の抑制用遊技機(医療用遊技機)開発と、それに伴いホール以外で遊技機が求められる可能性 ③要介護施設・老人ホーム等で遊技機が現状以上に活用される可能性 ④近隣に対してホール企業が認知症予防プログラムを提供できる可能性——等を挙げている。

5月16～18日に行った一連のボランティア活動(緑のきずな再生事業「仙台共生の森」プロジェクト、南三陸ボランティア活動)の成果が報告された。

「日遊協」で検索!

新コンテンツ「日遊協のCSR活動」オープン

第25回通常総会(第1回定時社員総会)開催

日遊協 ホームページ 更新情報

「女性の活躍」集大成を7月18日のフォーラム

第11、12回の人材育成フォーラムの開催時期、テーマ等を確定した。第11回は7月18日午後1時半から日遊協本部会議室で「女性活躍の集大成」をメインテーマに開催する。一昨年と昨年にシリーズで企画され好評だった「女性が活躍できる組織づくり」の総まとめ版を目指す。女性社員のモチベーション、働き方／環境、戦力化などのサブテーマに沿って、プレゼンテーションによる個社の事例紹介、ディスカッション等を行い、人事担当者として情報を共有する。

第12回フォーラムは9月12日、九州支部のオープン執行部会に合わせて、福岡市で開催する。人材育成フォーラムとしては初の地方開催となる。九州地方の経営者層をターゲットに、採用、人材育成、福利厚生、労務管理など人事関連全般について話し合う。

マネカレ講師の一人決まる

また、11月20、21日に東京・晴海グランドホテルで予定されている

第8回遊技産業マネジメント・カレッジの特別講師について、1人はアイワ広告(株)社長、小山雅明氏に決定した。講演はカレッジの始めと終わりの2回設ける予定で、残る1人の講演者についても交渉中だ。

AEDなどで講習

「8分の空白に応急手当」

東京都・関東支部が主催するAED(自動体外式除細動器)を使った救命講習が6月26日、7月8日の2回、日遊協本部会議室で行われた。受講したのは会員企業13社の社員と本部事務局員で、1回目の6月26日は18人が参加した。2回目は17人が参加予定となっている。京橋消防署から派遣された指導員が、「救急車が現場に到着するまでの平均時間は、東京都内で約8分。その間の空白が生命を左右する。バイスタンダー(居合わせた人)の応急手当が重要となります」と説明した。参加者たちは、6体の上半身マネキンを相手に心



マネキンを相手に救命講習を受ける東京都・関東支部会員たち

臓マッサージの方法、AEDの使い方と注意点を学んだ。

不正対策室会議

告発の入力増える

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は6月19日、日遊協本部会議室で委員ら16人が出席して開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。

2014年5月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は705件。業界から44件、一般ファンから661件の入力があり、今年に入ってからコンスタントに600を超えている。一般ファンの入力は、201

3年5月と比べると73件(2013年5月588件)増えており、高いレベルの入力数が続いている。

ゴト対策4団体会議

点検・確認個所の確認

最新ゴト事例を報告

第52回ゴト対策に関する4団体会議は6月20日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協のほか全商協、回胴遊商のオブザーバーら48人が出席した。

第51回会議で出された不正事例に対する日工組の対応及び対応予定が報告されたあと、最近のゴト事例の報告が行われた。パチンコでは「海物語」の新機種に対する玉がかり、「デビルマン」への磁石ゴトなど、パチスロでは「鉄拳2」などに対する電磁波ゴト、「主役は銭形」のセルゴトなどが報告、検証された。特にパチスロで対策部品を突破している不正器具の被害が出ていることが協議された。

日遊協からは、「北斗の拳」「吉宗」などの不正サブ制御基板に関して、点検・確認個所についての詳しい説明が写真・動画を使用して行われた。